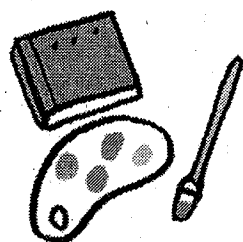


2023年度 平田中学校

# 図書館便り No.8

2023年10月13日発行

## ☆☆芸術の秋 読書感想画にチャレンジ☆☆



今年も読書感想画コンクールの季節がやってきました。読書の感動を絵画で表現してみませんか？文章を書くにはちょっと苦手・・・でも絵を描くのは好きという人にぴったりです。本から得た感動や印象、思考の深まりを一枚の絵にしてみましょう。

図書室には課題図書を揃えています。募集要項は図書室前に掲示ポスターがありますので参考にして下さい。



## あなたの「推し本」おしえてください！

茨木市立図書館では、茨木市内の中学生・高校生のおすすめ本リストを作成するために、推薦文を募集中です。作成したおすすめ本リストは各学校図書室に配布される予定です。また茨木市立図書館のホームページ上での公開も予定しています。締め切りは23年11月30日（木）まで。応募はWebからも可能です。応募用紙は図書室にも置いてあります。

たくさんの応募、待っています！



毎月放送で図書委員おすすめの本を紹介します。  
今回は3年4組、3年5組、2年1組、2年5組が担当です。

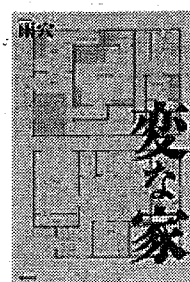
## 10月のブックトーク



「余命 3000 文字」 村崎 羯諦著 小学館

「大変申し上げにくいのですが、あなたの余命はあと 3000 文字です。」と言われた男の数奇な運命の物語です。

この本は、長い小説ではなく、5 分程度で読める物語が何個もあるので長い小説が苦手な人でも気軽に読めると思います。同じ作者の『△が降る街』も面白いのでぜひ読んでみて下さい。（3年5組）



「変な家」 雨穴著 飛鳥新社

この本はある一軒の家の間取りから始まります。一見すると普通の家に見える間取りには秘密が隠されていて、その秘密を明かしていくホラー・ミステリーです。ホラーと聞くと苦手意識を持つ人がいるかもしれませんが、『変な家』はライトホラーなので読みやすくなっています。2024 年には映画化も決定しているほど面白い本で、図書室にもあるので、手に取って下さい。第二弾の『変な絵』もおすすめです。（3年4組）



「少年と犬」 馳 星周著 文藝春秋

この本は、悩んだり傷ついたりした人々とある方向をよく向き、その方向に行きたがる一匹の犬が出会う話です。この本のいいところは、章ごとにその犬と暮らす人が変わり、ストーリーが変化していくところです。たまに前に出てきた人とつながりがあり、そこも面白いと思います。最後にはその犬がなぜある方向を向くのかが分かります。図書室にもあるのでぜひ読んでみて下さい。（2年5組）



「3 分間ミステリー」 緑川 聖司著 ポプラ社

この本は、隠された意味を考え、自分の考察と本当の意味を照らし合わせるができる短編集です。

この本を選んだ理由は、短時間で読むことができるからです。話の意味が分かると、そういうことか～と思って、もっとたくさんの話の意味も読みたくなりました。沢山のお話があるので飽きることもないと思います。図書室にもあるのでぜひ手に取って下さい。（2年1組）